

# 天文と気象の話

津田 剛

## 日本で46年ぶりの皆既(怪奇)日食

今回の日本の天気は、誠に残念であった。7月の天候から。

### 7月の天気の特徴

北日本の多雨、日本海側の日照不足、九州北部地方から東海地方にかけての梅雨明けの遅れが記録的だった。また、「平成21年7月中国・九州北部豪雨」が発生した。

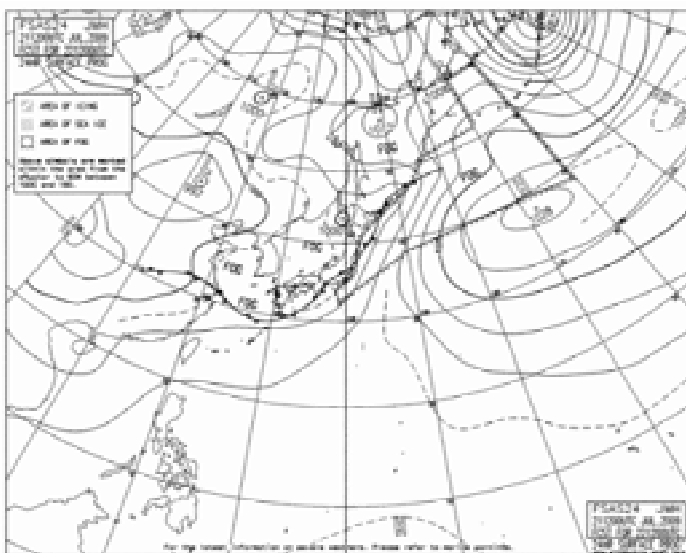
#### 【特徴的な気圧配置】

太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱く、西日本から北日本にかけて低気圧や前線の活動が活発だった。

#### 【その要因】

この気圧配置は、亜熱帯ジェット気流の南偏と蛇行の持続に伴うものである。

エルニーニョ現象や熱帯大気のがんが平年より高かったことが、亜熱帯ジェット気流の南偏と蛇行に影響し、太平洋高気圧の本州付近への張り出しを弱めた。そこで、エルニーニョ現象に加えて赤道季節内振動も、7月下旬における太平洋高気圧の張り出しが弱いことに影響した。(気象庁発表資料による)



この様なことで天気は悲惨で、日本で46年ぶりになる世紀的天体ショーの幕開けであったが、残念なことに、天気が悪く、日本列島は、梅雨前線がお日様を見せるものかと、太陽を隠した。 日食時の天気図

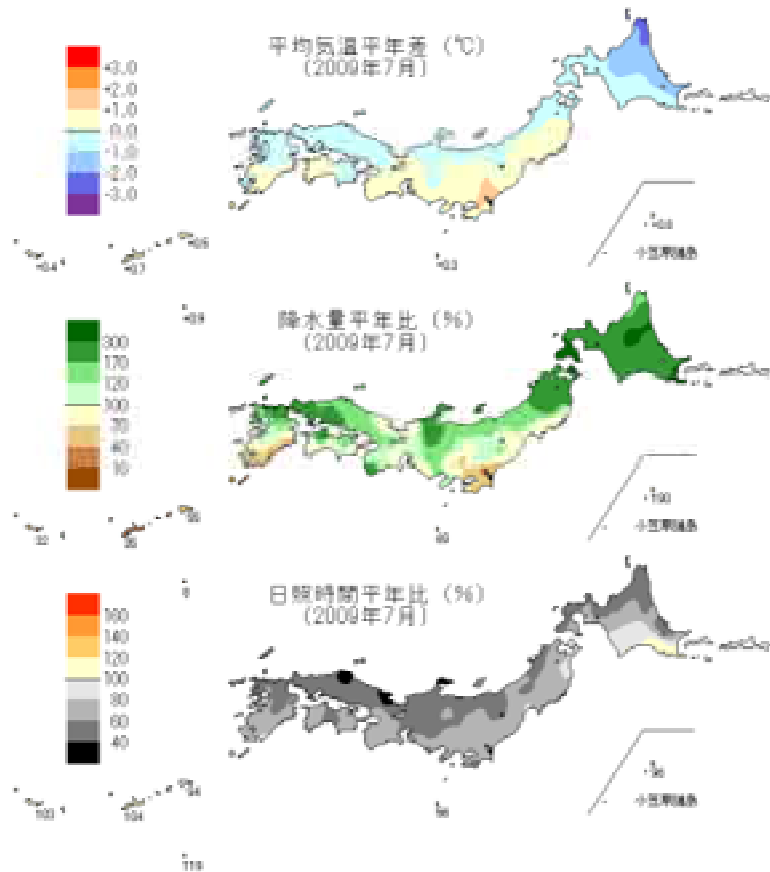
今年の夏は、例年ならもうとっくに梅雨明けして、輝く太陽が見られるはずだ、と私は思っていた。しかし今年とは異なる怪奇日食になってしまった。直接の犯人は梅雨前線だが、間接的には、南米の沖合のエル・ニーニョだという。種子島への遠征に行けなかった私は大分で狙ったが、殆ど見られず、世界ではインドのムンバイ、中国の成都、重慶、武漢などでダイヤモンド・リングが見られて、日本では、殆どが悪天でダメ、わずかに喜界島、硫黄島、硫黄島近海のクルーズ船の人が見られたそうだ。このうち硫黄島は、一般の人は立ち入り出来ないの、日本で日食が満足に見られた人はほんのわずかだった。しかしさすがに硫黄島は晴天率が高いだけある。国立天文台が押し掛けるだけのことはある。日本人が大挙4000人も押し掛けた上海も梅雨前線で見えず残念な結果になった。天気図を見ると、梅雨前線が掛かっている。

7月～8月までについて、日照不足、多雨、ゲリラ豪雨、竜巻などが観測された。さらに8月4日梅雨明け発表については昭和26年以来、平成5年を除いて最も遅い梅雨明けとなった。そして韓国気象庁は梅雨明け発表やめたそうだ。そこで私は、日食については、あきらめ今回の日食はテレビの中継を見ることにした。日本の気象庁にはアメダスがある。破壊的な意見だが、日食なんかなくなれという気分になった。というのは、気をやむ必要が無いからである。それほど予報が悲観的だった。さらに私自身レーダー画像を見ても、見れる気はしなかった。それをあざ笑うかの様に9月は雨の少ない好天が続いている。

アメダスとは「雨出す」ではなく（Automated Meteorological Data Acquisition System）の略で、皆既日食帯には7つのアメダスがある。

北から上中（種子島）、屋久島、尾之間、（屋久島）中之島（トカラ）、奄美空港、喜界島、名瀬の7カ所であり現在のは、10分おきにデータが見られる。

当然、アメダスが本格的に整備されて以来の日本では初の皆既食となったのだ。

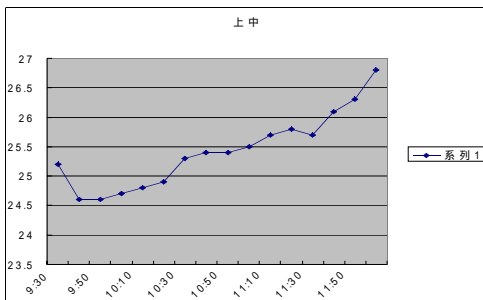


7月の平均値（気象庁提供）

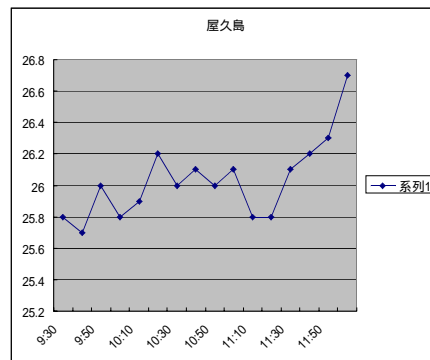
上中	気温	降水量	風向	風速	日照時間		
屋久島	気温	降水量	風向	風速	日照時間	湿度	気圧
尾之間	気温	降水量	風向	風速	日照時間		
中之島	気温	降水量	風向	風速	日照時間		
奄美空港	気温	降水量	降水量	風向	風速		
名瀬	気温	降水量	風向	風速	日照時間	湿度	気圧
喜界	気温	降水量	風向				

そこで、気温の変化を皆既時間について、気温の変化をグラフにしてみた。

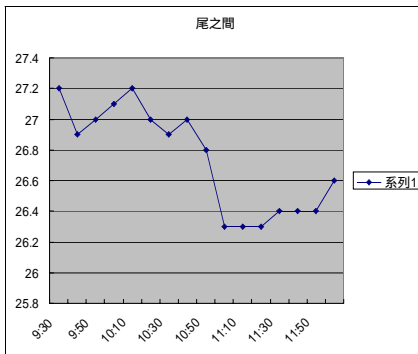
気温の変化 上中 天気良くない 雨



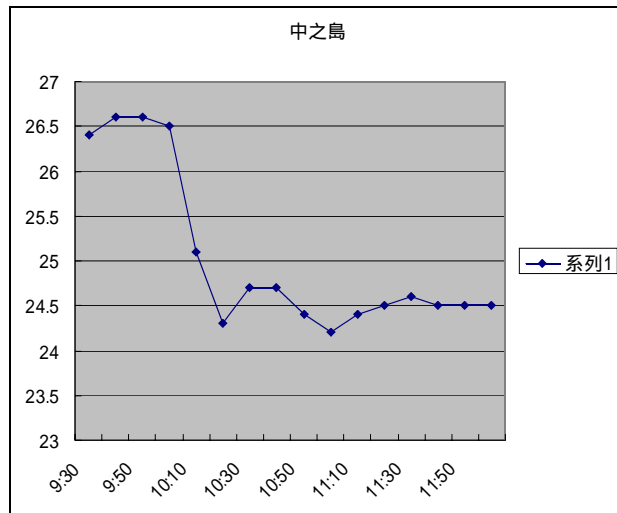
屋久島 天気良くない、雨

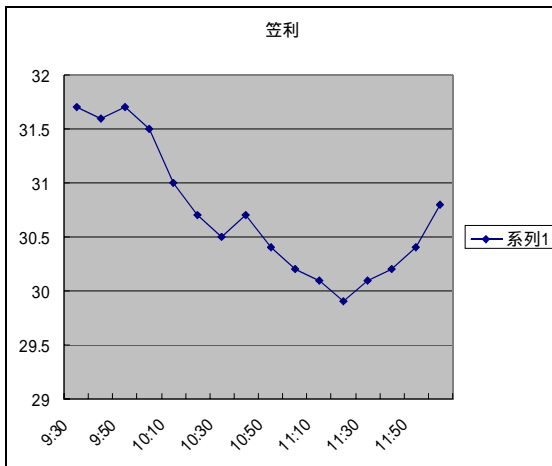


屋久島

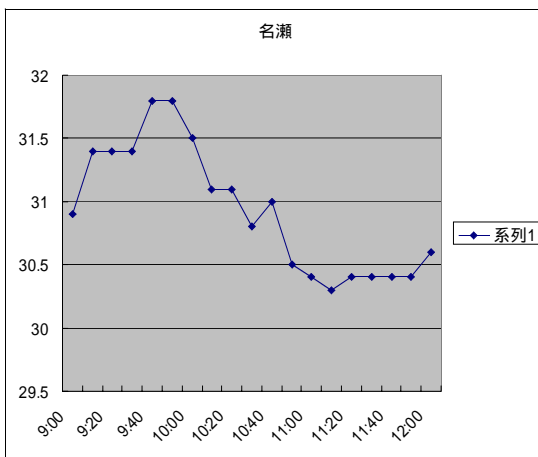


天気良くない、雨 中之島

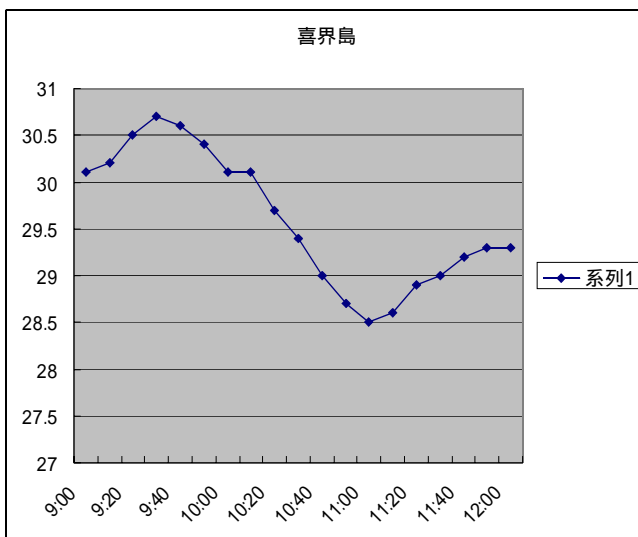




雨、天気良くない  
笠利奄美空港



名瀬 曇り



薄曇りながらどうにか見られる。  
気温の低下が明瞭  
ここが日食の影響がはっきりして  
いる。

そこで、天気比較的良かった喜界島だけはっきりした気温の低下が見られた。  
その他では、明瞭な変化が見られず、又はっきりしたのがあれば次回にしたい。  
所で、7月17日のテレビ番組「昼ナビ」で7月22日の天気を予測したところ、お

天気キャスター森田氏が天気は良くないと予測した。その番組でトカラの中之島天文台台長が「日食低気圧」というのがあるというのを紹介していた。それは、日食により気温が下がるため、上昇気流が起こり、雲が発生すると言った。理論的には、森田氏は気温が下がり、空気が凝結して雲が発生するのではないかといった。「日食低気圧」なるものが、気象的にあるものなのか知らないが、今回はこのときから天気は悲惨的であった。

さて今回は、来年、イースター島の皆既日食である。行ける人はどうぞ。

モアイ像に皆既日食の写真が撮れば最高!!!!!!!!!!!!!!。

過去の天気は今後、調べてみます。

2009年8月5日

津田